

提案

日付：2022/7/4

件名：聞き流すだけの行政

1.問題、課題

町長への手紙は、平成 30 年から遡り見ることが出来ます。

それは木村町長も同じであることと、平成 30 年に問題の提起が挙げられ

その回答には、いつも便利なコトバが使われ『前向きに検討』とされています。

その手紙は、問題解決に一番近い所管が回答を寄せています。

平成 30 年から同じ問題提起があがっているのに、管轄の所管はおろか、木村町長さえ見過ごしています。とりあえず、前向きに検討すると言っておけば、気が済むだろうとばかりに。

木村町長は、全部ではないにしろ、ニーズに寄り添った政策を、重い腰を上げて、今すぐ動いてください。

2.改善案：

木村町長ご自身が、町長への手紙を読み返していただき（4 年分）

繰り返し上がってくる問題を解決すると（前向きに検討ではなく）

どのように解決していくべきかの道筋をつけてほしい。

その一つに、昭和 56 年から続けている『衛生指導員』です。朝の忙しい時間、働き方も生活も多岐にわたってきているのに、いまだに変更する空気さえ感じられません。一部の町民に負担を押し付ける政策、恥ずかしいと思いませんか。

近隣の市町村に確認しても、そのようなことをしているところ見当たりません。

3.改善後の効果：

町民に寄り添う寒川町であるならば、寒川町に移住する人も増えるだろうし、町民も町役場に協力することに喜んで、と思えるようになると思います。

回答

<聞き流すだけの行政>

【所管：環境課】

日頃より寒川町の環境行政にご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

町では、今後のごみ・資源物の収集方法の検討を行うため、昨年の 10 月に 2

回、eモニターに対する「家庭から出るごみと資源物に関するアンケート」、また、今年の2月には、田端地区において、ごみ・資源物収集の試験運用を行い、その後、試験運用収集に伴うアンケートを実施し、町民の皆様のご意向の把握に努めてまいりました。今後も必要があれば、アンケート調査などを実施していく予定です。このようにより良い収集方法の実現のために、前向きに検討しております。

また、衛生指導員さんには、資源物置場において分別指導等を行っていただき、町の美化の向上に大きく貢献していただいております。衛生指導員さんの活動については、アンケート項目にも入っており、町民の皆様のいろいろなご意向を把握しておりますので、その調査結果などさまざまな観点から今後どのようにしていくかを判断していく必要があると考えております。

今回実施した田端地区での試験運用では、資源物置場を廃止すること、すなわち衛生指導員さんによる資源物置場での指導等も必然的になくなる試験でもありましたが、アンケート結果で「変更する必要はない」と「変更したほうが良い」との回答が同数となりました。そこで別の地区でも再度、試験運用を行う予定で検討を進めております。

このように試験運用やアンケートの実施、ご意向の把握を行っている中で、「聞き流すだけの行政」とのご指摘をいただきましたが町では、さまざまな機会を通じてご意見を伺いながら、課題の解決に向けた取り組みを進めておりますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。